

第 5 回愛媛県県立学校振興計画検討委員会地域協議会の開催結果（概要）

- 1 日 程 等 令和 3 年11月29日(月)～12月24日(金) 県内 8 地区で開催
- 2 出席者等 ○地域協議会会員 160 人（代理出席を含む）
○教育委員会事務局 8 人（副教育長、指導部長、魅力化推進監 他）
○傍聴者 4 人
○マスコミ等 なし
- 3 次 第 (1) 開会（指導部長挨拶、スケジュール説明）
(2) 議事（第 4 回地域協議会報告、振興計画策定のための検討、意見交換等）
(3) 閉会

4 開催結果

○ 会員による意見交換（主な発言内容）

四国中央	○市内から <u>大規模校がなくなると、生徒の周辺地域への流出が心配。</u> ○振興計画において、存続することが決まった学校には、施設の整備面を含めた支援を望む。 ○進学指導強化モデル校の指定は、他校との格差を生みかねず、慎重に検討してほしい。
新居浜	○異なる職業学科の連携を強化し、キャリア教育をより充実させてほしい。 ○高校の部活動に期待している。 <u>スポーツ学科の早期設置を望む。</u> ○地域と連携した取組については、教員の負担が増えつつあることが課題である。
西条	○普通科志向の強い地域であり、 <u>できるだけ普通科を多く設置してほしい。</u> ○統合される学校に対しては、県教委の適切なサポートが必要。 ○教員養成・社会共創コースの設置は歓迎。
今治 越智	○ <u>現行のチャレンジシステムをクリアした学校に対して、同システムの継続を望む。</u> ○一度学校がなくなれば地域の衰退は必然。存続に向けた検討も必要。 ○ <u>教育と移住は両輪であり、島しょ部全体で盛り上げたい。</u> ○島しょ部の学校は大切だが、実態としては、島しょ部に住んでいて、旧今治市内の高校に行く生徒も多い。
松山 伊予 上浮穴	○中島の活性化のため、離島の特例措置については、前向きに検討してほしい。 ○地域活性化の観点から、高校と市町との連携は、施策として重要。 ○地元として、 <u>1市町1校の学校については、存続を希望</u> する。
大洲 喜多	○1学級当たりの定員や部活動の在り方については、教員の働き方改革の観点からも、検討を続けてほしい。 ○新基準がスタートした場合、 <u>新しい基準をクリアすれば、統合されずに存続する可能性もあるということを明記してほしい。</u> ○定時制の再編により、希望者が行き先に困らないような配慮を望む。 ○学校に適應できない生徒やその保護者への対応も必要ではないか。
八西 西予	○統廃合後の、キャンパス制や施設使用の在り方を明確にする必要がある。 ○ <u>後期計画案を、状況によって前期へ前倒しする検討も必要</u> ではないか。 ○受検する中学生の立場から、再編整備に関する情報は、実施 2 年前には提示してほしい。
宇和島 南宇和	○ <u>中等教育学校は、廃止も含めて検討してほしい。</u> ○農業科において、地域の農業と連携した活動を増やしてほしい。 ○宇和島水産の寮の改修をすれば、県外からの志願者が増えると考ええる。 ○県立高校を 2 回受検できるようにするなど、入試制度の見直しが必要ではないか。